当日配布

資料5

柏市在宅医療計画について

柏市地域医療推進課

平成２９年６月３０日

【今回の内容】

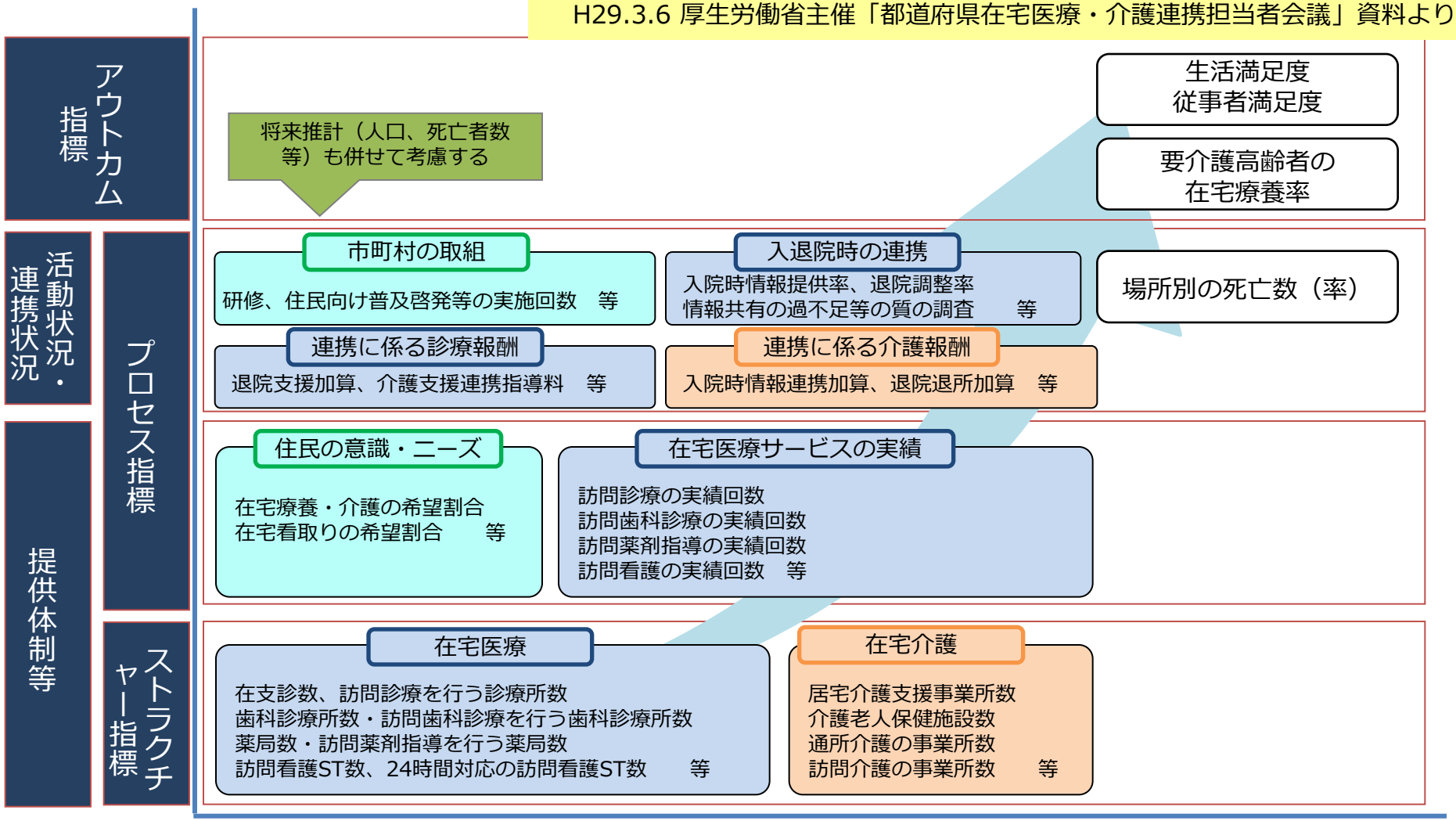
○平成２８年度医療・介護レセプトデータ集計

○在宅医療・介護連携推進事業の評価指標（案）

在宅医療・介護連携推進事業における指標のイメージ（案）

○　地域の課題や取組に応じて、必要な評価指標を検討、選択することが重要。

H29.3.6 厚生労働省主催「都道府県在宅医療・介護連携担当者会議」資料より



※実績値は「後期高齢者1万人対」など人数比で把握するようにして、規模の異なる市町村間での横比較ができるようにする必要あり

参考）http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000061944.html

出所）地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業の実施状況および先進事例等に関する調査研究事業報告書より一部改編
（平成28年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業　野村総合研究所）

在宅医療・介護連携推進事業の評価指標（案）

①分析や事業進捗確認用の指標・データ

			項目	2012 24年度	2016 28年度	2025年 計画値
提供体制	ストラクチャー指標（資源等）	在宅医療	在宅療養支援診療所数	20	32	第2回連携協議会にて提示予定
			訪問診療実施診療所数　(訪問診療算定市内医療機関数)	26.3	34.4	
			在宅療養支援歯科診療所数	20	26	
			訪問歯科診療実施診療所数（訪問歯科診療算定市内医療機関数）	18.8	45.2	
			訪問薬剤指導を行う薬局数　（訪問薬剤算定市内薬局数）	20.8	48.2	
			訪問看護ステーション数	13	27	
			訪問リハビリ事業所数	8	12	
			(再掲）特区訪問リハビリ事業所数	ー	5	
		在宅介護	居宅介護支援事業所数	91	116	
			介護老人保健施設数	8	8	
			通所介護事業所数	79	112	
			訪問介護事業所数	74	87	
			小規模多機能事業所数	6	9	
			定期巡回随時対応型訪問介護・看護事業所数	2	4	

ストラクチャー指標（地域の医療・介護資源）

- 在宅療養支援診療所　・・・・・・・・・・・・・・・1.6倍
- 在宅診療実施歯科診療所・・・・・・・・・・・・・・1.3倍
- 訪問看護ステーション　・・・・・・・・・・・・・・2.08倍
- 訪問リハビリ事業所　・・・・・・・・・・・・・ 1.5倍
- 居宅介護支援事業所　・・・・・・・・・・・・・・1.27倍
- 通所介護事業所　・・・・・・・・・・・・・・1.42倍
- 訪問介護事業所　・・・・・・・・・・・・・・1.18倍
- 小規模多機能事業所　・・・・・・・・・・・・・・1.5倍
- 定期巡回随時対応型訪問介護看護・・・・・・2.0倍

医療・介護資源は増加している状況が確認できました。
今後人口動態に合わせ，将来的に在宅医療や介護サービスがどのくらい必要になるかという需要推計に基づき，分析を深めた上で計画値を設定することを考えています。

在宅医療・介護連携推進事業の評価指標（案）

①分析や事業進捗確認用の指標・データ

			項目	2013 25年度	2016 28年度	2025年 計画値
提供体制	プロセス指標（実績値）	住民の意識やニーズ	在宅医療の認知度	－	55%	第2回連携協議会にて提示予定
			最期を迎えたい場所（自宅希望割合） ・自立高齢者	44.7%	54.5%	
			・要介護高齢者		37.6%	
			最期を迎えたい場所の話し合い ・自立高齢者	－	35.1%	
			・要介護高齢者	－	33.2%	

【★追加したい項目★】

○**「在宅看取りの実現の可能性」**

⇒在宅医療を選択肢のひとつとして考えられているかを確認します。
柏市高齢者いきいきプラン２１（柏市地域包括ケア計画）策定のための基礎調査の項目に加え，定期的に確認していくことを考えています。

在宅医療・介護連携推進事業の評価指標（案）

①分析や事業進捗確認用の指標・データ

			項目	2012 24年度	2016 28年度	2025年 計画値
提供体制	プロセス指標（実績値）	在宅医療サービスの実績（月平均）	医）訪問診療の実施人数	1309.4人	1,978.9人	第2回連携協議会にて提示予定
			医）訪問診療の実績回数	2,701回	4,005.6回	
			医・介）訪問看護の実施人数	695人	1,359.3人	
			医・介）訪問看護の実績回数	6,161回	10,723.1回	
			介）薬剤師居宅療養管理指導実施人数	766.8人	1,295.8人	
			介）薬剤師居宅療養管理指導実績回数	1,011回	2,750.9回	
			医）訪問歯科診療の実施人数	631.6人	1,901人	
			医）訪問歯科診療の実績回数	1,308回	3,862.3回	
			医・介）歯科衛生士訪問口腔衛生指導実施人数	747.8人	1,614.9人	
			医・介）歯科衛生士訪問口腔衛生指導実績回数	1,815回	3,742回	
			医・介）訪問栄養士指導実績人数	3.2人	0人	
			医・介）訪問栄養士指導実績回数	6回	0回	
			介）訪問リハビリの実施人数	313.8人	695人	
			介）訪問リハビリの実績回数	4,823回	7,765.2回	
			（再掲）特区訪問リハビリの実績回数	ー	1,650.2回	

在宅医療・介護連携推進事業の評価指標（案）

①分析や事業進捗確認用の指標・データ

			項目		2014 26年度	2016 28年度	2025年 計画値
活動状況・連携状況	プロセス指標（実績値）	取り組み	情報共有	ICTを活用した新規症例数	76件	74人	第2回連携協議会にて提示予定
				ICTのID/PWの保有者数（多職種）(累計)	689人	1,306人	
				ICTのID/PWの保有事業所数　(累計)	214箇所	295人	
			相談支援	柏地域医療連携センター相談実件数/年	611件	537箇所	
				柏地域医療連携センター相談延件数/年	727件	950件	
				（再掲）コーディネート相談件数/年	54件	23件	
			研修	在宅医療多職種連携研修会修了者数(累計)	310人	411人	
				（再掲）研修修了医師数(累計)	49人	62人	
				顔の見える関係会議参加者数（延）/年	906人	900人	
				（再掲）初参加者率/年	38%	38%	
				多職種が連携して実施した研修会	–	2回	
			広報・啓発	住民向け普及啓発等の実績回数/年	69回	26回	
				住民向け普及啓発等の参加者数/年	2,410人	1,474人	
				（再掲）多職種で実施した普及啓発/年	17回	7回	
				在宅医療情報紙「わがや」発行部数/年	280,000	316,000	

在宅医療・介護連携推進事業の評価指標（案）

①分析や事業進捗確認用の指標・データ

			項目	2012 24年度	2016 28年度	2025年 計画値
活動状況・連携状況	プロセス指標（実績値）	連携に係る診療報酬・介護報酬	医）退院時共同指導料１（診療所）	30回	26回	第２回連携協議会にて提示予定
			医）退院時共同指導料２（病院）	20回	31回	
			医）退院支援加算	－	1,442回	
			医）介護支援連携指導料	405回	642回	
			介）入院時情報連携加算	－	610回	
			介）退院退所加算	－	349回	
		在宅看取り	在宅看取り数	151件	H29.９月	
			（再掲）市内医療機関による自宅看取り数	101件	H29.９月	
			在宅看取り率	6.2%	H29.９月	
			（再掲）市内医療機関による在宅看取り率	4.2%	H29.９月	

プロセス指標：データから見えること

- 訪問診療実施人数（1.51倍）
- 訪問歯科診療実施人数（3.01倍）
- 歯科衛生士訪問口腔衛生指導実施人数（2.16倍）
- 訪問看護の実施人数（1.96倍）
- 訪問リハビリ実施人数（2.21倍）
- 薬剤師居宅療養管理指導実施人数（1.69倍）
- 退院時共同指導：病院（1.55倍）
- 介護支援連携指導料（1.59倍）

今後実績増加の詳細な要因分析を進め，現状に見合った計画値を算出していきます。
連携に係る質の評価については，各職能団体にヒアリングをお願いし，現状と課題を確認した上で指標や計画値を定めていきます。

在宅医療・介護連携推進事業の評価指標（案）

②目標となる評価指標

		項目	2013 25年度	2016 28年度	2025年 計画値
アウトカム	市民の満足度	主観的健康感（要介護高齢者）	－	35.4%	第2回連携協議会にて提示予定
	従事者の満足度	ケアマネ調査：医療との連携状況	－	40%	

【★アウトカム指標として追加したい項目★】

○**「市民の満足度」**・・・自立高齢者・要介護高齢者に確認

・**主観的幸福感**　・**生活満足度**　・**主観的健康感**

○**「従事者の職務満足度」**

・**主観的幸福感**　・**主観的健康感**　・**働きがい**　・**職務満足度**

※ケアマネだけでなく，ヘルパー，訪問看護師，リハビリ職等へ確認

⇒柏市高齢者いきいきプラン２１（柏市地域包括ケア計画）策定のための基礎調査の項目に加え，定期的に確認していくことを考えています。

○**「その他」**

・**在宅療養率**

⇒高齢者の居所（在宅・施設・病院等）をレセプトの状況から把握し，サービス利用割合から分析することで在宅療養の割合を把握します。